

元気で長生き応援団

よこらせ

第 120号 2014年 3月 12日 (水)

発行

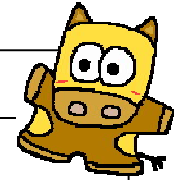
NPOライフケア浜松 ☎ 053-426-0691

浜松市南区恩地町 263

㈱LCウェルネス

デイホーム・ここ倶楽部 ☎ 053-427-3244

浜松市南区恩地町 263



経読鳥

ウグイスの
初音(はつね)
をもうお聴き
になりました
か？



初音とは一般に、鳥や虫のその年の最初の鳴き声のこと。特にウグイスやホトトギスについて言うことが多い、と辞書にはあります。ウグイスは春を告げるので、春告鳥という名前を持っています。ホトトギスは夏を告げる鳴き声ですね。「春は名のみ風の寒さや・・・ときにあらずと声もたてず」と歌(早春賦)にあるように、まだ初音には早すぎますか。さてこのウグイスですが、メジロと取り違えている方もいるようです。ウグイス色とは、かなり鮮やかな薄緑色を思い浮かべるかも。実際のウグイスは暗い灰褐色が目立たない鳥です。林の中にいればまず見つけることはできません。薄緑はメジロの色を指しているよ

うに思います。

ウグイスの「ホーホケキョ」と鳴くのは、仏さまの説かれる「法を聴けよ」とウグイスが言っているのだよ、と昔の人は言ったそうです。ホー、ホケキョに「法、法華経」の字を当てたのでしょう。なので、ウグイスは「経読(きょうよみ)鳥」という別名も持っています。日本人は宗教心がない、と言われることがありますが、ひと昔前まではそんなことはないようです。素朴に、素直に信仰心を持つている人が普通だったと思います。



ここ倶楽部 朝市

3月 12日(水) 9:30~

- ・採れたて新鮮野菜
- ・花・野菜の苗
- ・ぬか漬
- ・各種のおいしいお総菜もあり

お誘い合わせて、ぜひお出で下さい

そういう宗教心の表れとして、一般の家庭でも

仏教説話が子どもたちに伝えられました。そのなかでは、阿弥陀如来や地藏尊などの諸仏が、乞食

(こつじき)や身体に障害をもつた人物として登場します。彼らにどうい

うふうに接したか、その対応ぶりにしたがって報

いが与えられます。やさしく親切に接したものに

は、幸せが訪れるのです。こうして子どもたちのな

かに、自然といたわり的心を育てていました。

西洋でも、知的障害者は「神の子」とされている、と聞いたことがあります。ロシアの作曲家ム

ソルグスキーは歌劇「ボリス・ゴドノフ」で、白痴(今では使つてはいけ

ない言葉ですが)を登場させて、素晴らしい歌を唄わせています。彼は実

は聖人でした。聖愚者なものでした。そして彼は劇

の中で未来を予言します。今、日本は弱者や障害

者にやさしい社会に近づいているとは言えない。

むしろ遠のいているように思えます。

寛容さを



「焚書(ふんしょ・本を燃やすこと)は序章に過ぎない。本を焼く者は、

やがては人をも焼くようになるだろう」(ドイツの詩人ハイネの言葉、一八

二〇年)

およそ百年後、この警句は不幸にも現実となつてしまいます。ナチス・

ドイツは厳しい言論統制で多くの本を焼き、そして自分たちに反対する者

をたくさん殺しました。ナチス・ドイツのよう

なファシズムを再現させてはいけません。

戦争は人の心の中から生れる、という意味のことを述べた人がいます。

ファシズムもまた、心の中にそれを許してはいけません。

アンネの日記の関係の本が、乱暴に破かれる、という事件はとても恐ろしく、危険な要素を持っているように思います。

「本を破るものは、やがて人をも破る」ようになってはたいへんです。

ヘイトスピーチという、民族差別の発言も取沙汰されています。これらは同じ流れをあらわしています。政治の右傾化はこうした流れに勢いを与えているようです。

寛容さ・優しさ、とは正反対の状況が生れています。それが大きなうちに、

寛大で友好的な社会を取り戻したいものです。

満十年

おかげさまで「よっころせ」も百二十号、

満十年になりました。読者の皆様に励まされて、なんとか続けてこられました。今後

もよろしくお願ひします。

◆2月3日 節分

恵方巻きを皆さんで50本位
つくりました。お昼に東北東
を向いて丸かじり、1本半食
べられた方が大勢いらして、
元気、元気!午後には豆まき、鬼役の人に豆
を投げたり、お菓子を拾ったり、子供のころ
に戻って大はしゃぎでした。



◆2月5日 ハヤシライス

今日はRさんのお誕生日。メニューはハヤ
シライスなのですが、「昔よく食べたよ」と言
っていました。他のご利用者さんも「おい
しい」「おいしい」とみんなペロリと食べてお皿
の上は何も残っていませんでした。もしかし
たら、カレーより好きかもしれないですね。

◆2月6日 お雛様

お雛様を飾りました。毎年のことなのに飾り
方を忘れて、「三人官女は何持ってったっ
け?」「五人囃子のこの人は何持ってる?」
「この帽子誰の?」と大騒ぎ。「いいだよ。適
当に持たせときゃ。うちの子しかいない
から、とんじゃかないよ」(+_)とAさん。この
話を聞いてたかどう
か、飾っていたお年
寄り、普通に二段



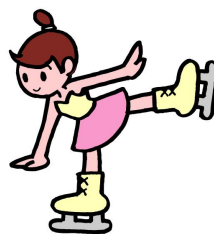
目に五人囃子を飾ってました。もちろん、
そ〜っと直しておきました。

◆2月7日 かわいいね

今日は頭陀寺幼稚園の年長組さんが 30
人も来所、歌やお遊戯を見せてくれました。
利用者さんの中へ入って絵を描いたり、あ
やとりをしたり。かわいい子供さん達との交
流に目を細めっぱなしの皆さんでした。

◆2月17日 オリンピック

オリンピックのフィギュア
スケートで金メダルをとった
ので、ここ倶楽部でもかん
がって金メダルをとって
いただくように、遊びりでお手玉投げ得点ゲ
ームをやりました。金、銀、銅メダルをとって
下さった方への副賞はスタッフの抱擁。フ
ィギュアスケートの羽生君からは勇気を
たくさんいただきましたね。



◆2月19日 蕎麦打ち

寺脇の元気会の方々がみえて、蕎麦打ち
をしました。ご利用者さんも見学したり、蕎
麦打ちを体験したり。「昔は、私もやって
いたよー!」できるかやーと心配しつつ、楽し
くできました。出来上がった蕎麦も味があり

おいしいこと。お腹いっぱい食べました。

◆2月21日 みそ作り

きのうゆでた大豆をす
りに木でつぶしてみそ
作り。つぶすのが大変で、皆さん交替で
がんばって下さいました。肩を痛めて、い
つもりハビリをしなから「痛い、手が動かな
い」っておっしゃっていたSさん、今日のみそ
作りでは大ハッスル、充分手が動いて
ました。皆さんお疲れ様。きっとおいし
お味噌ができると思います。



◆2月22日 甘酒を頂きました

自治会の方から甘酒をお鍋いっぱい頂
きました。優しいお味がする甘酒でした。
自治会の皆様有難うございます。皆様に
支えられているここ倶楽部だと実感させら
れます。

◆2月24日 よもぎ摘み

今日はポカポカ日和、ここ倶楽部の前の
田んぼの土手で、かごいっぱいよもぎを摘
んで下さいました。重曹を入れて茹で、す
り鉢でつぶしました。「茹でるとこれきりにな
るんだね」ってみんなで驚きました。3月3
日のお節句にうぐいす餅をつくりましょう。